

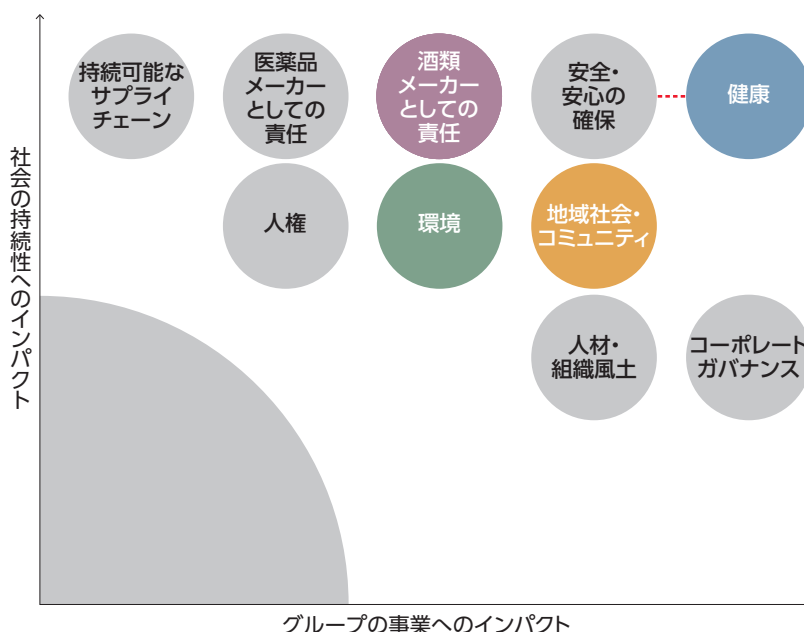
# 社会と価値を共創するためのCSV推進体系

## グループ・マテリアリティ・マトリックス

キリングroupでは、社会とともに将来にわたり持続的に存続・発展していく上での重要テーマを「持続的成長のための経営諸課題（グループ・マテリアリティ・マトリックス：GMM）」に整理しています。グループを取り巻く社会課題を踏まえ、「酒類メーカーとしての責任」を果たすことを前提に、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」の4つを「CSV重点課題」に選定しています。

 持続的成長のための経営諸課題  
<https://www.kirinholdings.co.jp/csv/materiality/>

## グループ・マテリアリティ・マトリックス



## CSVパーパス

社会と価値を共創し持続的に成長していくために、長期経営構想「KV2027」の指針として、4つのCSV重点課題ごとに「CSVパーパス」を策定しています。

「2050年までに、資源循環100%社会の実現を目指す。」としていた環境パートについては、2020年2月の環境ビジョンの改定に伴い、「ポジティブインパクトで、持続可能な地球環境を次世代につなぐ。」へと変更。より高いハードルを設定し、その達成に向けた取り組みを開始しています（ P.40参照）。

 私たちのCSVパーパス  
<https://www.kirinholdings.co.jp/csv/purpose/>



## CSVコミットメント

CSV重点課題に取り組んでいくために、CSVパーパスの中期のアクションプランとして、19の「CSVコミットメント」を設定しています。各コミットメントは、中期経営計画の非財務目標としても設定しています。

事業戦略とCSVコミットメントを連動させることで、グループ全体で目的を共有して社会的価値を創出するとともに、競争力の強化と事業の成長という経済的価値につなげて、CSV経営を深化させています。

2019年度は、各成果指標を踏まえた施策を着実に実行し、目標達成に向けて順調に進捗しました。



CSVコミットメントの成果指標

<https://www.kirinholdings.co.jp/csv/commitment/>



**KB** キリンビール  
**LN** ライオン

**KBC** キリンビバレッジ  
**MBL** ミヤンマー・ブルワリー

**ME** メルシャン  
**KKC** 協和キリン

**KIW** 小岩井乳業  
**KH** キリンホールディングス

|              | 主なCSVコミットメント        | アプローチ・成果指標                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 酒類メーカーとしての責任 | 適正飲酒啓発と次世代へのお酒の文化継承 | <ol style="list-style-type: none"> <li>適正飲酒啓発プログラムの実施</li> <li>適正な飲酒習慣をサポートするアルコール量の表示 <b>KB</b> <b>ME</b> <b>LN</b> <b>MBL</b></li> </ol>                                                                                                              |
| 健康           | 健康・未病領域におけるセルフケア支援  | <ol style="list-style-type: none"> <li>低糖・カロリーオフ無糖商品・健康機能エビデンス関連商品の拡充 <b>KBC</b> <b>KIW</b></li> <li>健康機能性素材(プラズマ乳酸菌)の新たな価値の継続的な創造 <b>KH</b></li> </ol>                                                                                                 |
|              | 治療領域の進化             | <p>バイオ医薬品の提供を通して培った強みである研究開発力と製造技術力を核として創業基盤を強化し、自社創業の新薬を世界へ提供 <b>KKC</b></p>                                                                                                                                                                           |
| 地域社会・コミュニティ  | コミュニティ活性化への貢献       | <p>キリングループ商品がある食卓・飲食店・レクリエーション・季節ごとの行事・スポーツ／音楽イベントなど、人と人とがつながる機会の拡大、創出 <b>KB</b> <b>ME</b> <b>KBC</b> <b>MBL</b></p>                                                                                                                                    |
|              | 原料生産の持続可能性強化        | <p>持続的な調達と生産地域の活性化に向け、長期的な視点に立った原材料の価値化と生産地または農家への支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本産ホップ調達量 <b>KB</b></li> <li>日本ワイン用ブドウ生産量 <b>ME</b></li> <li>醸造米契約栽培比率 <b>MBL</b></li> <li>レインフォレスト・アライアンス認証取得、支援小規模農園数 <b>KH</b> <b>KBC</b></li> </ol> |
| 環境           | 気候変動影響への対応          | 再生可能エネルギー導入と省エネルギー推進 <b>グループ全体</b>                                                                                                                                                                                                                      |
|              | 容器包装の取り組み           | 容器包装の3R・資源循環推進 <b>KB</b> <b>KBC</b> <b>ME</b> <b>LN</b>                                                                                                                                                                                                 |

## グループCSV委員会活動報告

キリングループでは、全社でCSVを積極的・自主的に推進していくために、キリンホールディングスの社長を委員長、主要事業会社の社長を委員とする「グループCSV委員会」を原則として年1回開催し、長期のCSVの戦略について議論しています。

### 2019年度のアジェンダ

- 2018年度の主な進展と今後の課題
- “世界のCSV先進企業”を目指し、経営レジリエンス強化に向けて
  - ・ ESG評価対応
  - ・ TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえた意見交換
- 社外講師による講演

